

数 学 I 学 習 指 導 案					
学 級	1 年 1・2 組 A 講座	教 室	2 4 2 教室	指 導 者	
単 元	第 2 章 2 次 関 数		教科書	改訂版 数学 I (数研出版)	
指 導 目 標	1 2 次方程式 $f(x)=0$ の解と、2 次関数 $y=f(x)$ のグラフの対応関係を明らかにする。 2 2 次関数のグラフと $x$ 軸の共有点の個数が $b^2-4ac$ の符号により調べられることを理解させる。 3 2 次不等式 $f(x) > 0$ , $f(x) < 0$ の解と 2 次関数 $y=f(x)$ のグラフとの対応関係を明らかにする。		指 導 計 画	第 2 節 2 次不等式 5 2 次関数のグラフと $x$ 軸の位置関係 . . . . . 2 時間 6 2 次不等式 . . . . . 6 時間 (本時はその 1 時間目) 7 演習問題 . . . . . 3 時間	
本時の主題	2 次不等式				
前時の課題	教科書 練習 28, 29 を解いておく。				
目 標	1 2 次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフと $x$ 軸の位置関係を考察することにより、2 次不等式 $ax^2+bx+c > 0$ ( $< 0$ ) の解法を理解させる。 2 2 次不等式の解法を理解させ、その解を数直線上に図示できるようにする。				
指 導 過 程	指 導 内 容		時間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 の 観 点 等
	導 入	1 前時の課題を解答する。 2 本時の目標を確認する。	5	・既習事項の内容について復習し、学習意欲を喚起する。	・復習の内容から本時の内容につなげる。 <関心・意欲・態度>
	展 開	1 例題 16 「2 次不等式 $x^2-2x-3 > 0$ $x^2-2x-3 < 0$ の解」 を解説する。	10	・1 次不等式の解法と同様にグラフ上の点の $y$ 座標の符号を調べればよいことを理解させる。 ・まず、2 次方程式を解いて $x$ 軸との共有点を求めることを理解させる。	・既に学んだ方法で対応できる。 <表現・処理> ・チェーン ・2 次方程式との関連が理解できている。 <数学的な見方や考え方>
		2 例題 10 「次の 2 次不等式を解け。 (1) $3x^2+4x-4 < 0$ (2) $x^2+2x-2 \geq 0$ 」 を解説する。	5	・ $x^2$ の係数が負の場合、不等号の向きに注意して、 $x^2$ の係数を正にして解くことについて言及する。	・解法が理解できている。 <知識・理解>
	3 練習 32, 33 の演習	10	・2 次方程式の 2 つの解の大小に注目させて解かせる。	・問題に意欲的に取り組んでいる。 <関心・意欲・態度>	
	4 例題 18 「2 次不等式 $x^2-2x+1 > 0$ $x^2-2x+1 < 0$ の解」 を解説する。	5	・ $a > 0$ , $D = 0$ の場合の考え方や解法の手順も、グラフの概形から考えることに言及する。	・解の表現を理解できる <表現・処理>	
	5 問題演習 練習 34 を解かせる。	10	・2 次不等式の解は、判別式 $D$ の符号によって分類されることを理解させる。	・2 次関数のグラフと 2 次不等式の関係が理解できている。<関心・意欲・態度>	
整 理	1 本時のまとめ 2 次時の予告	5	・本時の内容が理解できているか確認させる。		
次 時 の 課 題	教科書練習 32, 33, 問題集「クリアー数学 I + A」183, 184, 185				
備 考	普通科 生徒数 40 名				